

パワーリベラメンテ導入記(8) —デジタル音源の DSD 録音—

1. 始めに

前報(6)と(7)ではアナログからの DSD 録音における効果を調べましたが、今回はデジタル音源の DSD 録音における効果を調べます。

2. パワーリベラメンテの効果の録音と試聴方法

次のようなルートで録音を行ってみました。CD の再生は EMT981 と Plextor Premium 2U を使用し、後者では HQPlayer で 11.2MHzDSD にリアルタイム変換して micro iDSD に送り出しています。

CD からの録音

EMT981(44.1KHz)→【CCV-5(98KHz)】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】
「Plextor Premium 2U」→「ES-OT4」→【PC】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】

BS 録画録音

BZT-9000→【CCV-5(98KHz)】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】

ベルリンフィル Digital Concert Hall の録音

【PC】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】

ここで、EMT981、CCV-5 および DA-3000 には GPS-777 からクロックを供給します。

再生は、録音した DSD 音源を外付け HDD から読み出し、HQPlayer で再生します。

「HD-LSU2D」→「ES-OT4」→【PC】→HiFi Noise Filter→micro iDSD→
【DA-3000(44.1KHz)】→【MYTEK DIGITAL 192-DSD(DA-3000 からクロック供給)】

電源供給の状況は次のとおりです。

【 】: パワーリベラメンテ接続チクマタップから供給

「 」: パワーリベラメンテ接続チクマタップから 2 次供給の一般家電用タップから供給

ここで、CCV-5 には GPS-777 から、DA-3000 には ABS-7777 からクロックを供給します。

即ち、録音ルートを替えて、録音、再生とも可能な限りパワーリベラメンテ経由で電源供給を行って、その効果をみようとするものです。

音源としてはマーラーの交響曲 1 番を選び、CD はインバル／チェコフィル、BS 録画はセガン／フィラデルフィア、Digital Concert Hall はラトル／ベルリンフィルの

演奏です。

3. パワーリベラメンテの効果の試聴結果

結果的に、EMT981 による CD 再生、Plextor による CD のリアルタイム DSD 変換再生、BS 録画再生、Digital Concert Hall のストリーミング再生ともグレードが上がって優劣つけがたいところまで来ています。パワーリベラメンテ導入により録音のグレードが上がっただけでなく、録音された DSD 音源の Native 再生のグレードが上がったことも寄与しているものと思われます。

4. まとめ

再生ルートを替えてもグレードが上がって優劣つけがたいところまで来ていることが確認できました。

以上